

宮城教育大学（青葉山）災害復旧（テニスコート）工事

図面リスト

通し番号	図面番号	図面名称	縮尺
01	L - 01	表紙・図面リスト	—
02	特C - 01	特記仕様書（1）	—
03	特C - 02	特記仕様書（2）、案内図・配置図	—
04	C - 01	テニスコート平面図・詳細図	図示

工事名称	宮城教育大学（青葉山）災害復旧（テニスコート）工事	図面番号	L-01
図面名称	表紙・図面リスト	縮尺	A1:N.S A3:N.S
令和4年度	国立大学法人宮城教育大学施設課	通し番号	01 / 04

土木工事特記仕様書	
工事概要	
工事名称	宮城教育大学(青葉山)災害復旧(テニスコート)工事
工事場所	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉14.9(宮城教育大学青葉山団地構内)
完成期限	令和4年8月31日(水曜日)
工事内容	テニスコート舗装面のクラック処理 表層(アクリル樹脂舗装)及び基層(アスファルト舗装)の穿孔 舗装面不陸整正の上、砂入り人工芝舗装新設

一般特記事項	
総則	<p>1. この工事の受注者は、国立大学法人宮城教育大学工事請負契約要項別記の工事請負契約基準、現場説明書、特記仕様書、2枚、図面、2枚、文部科学省土木工事標準仕様書(令和3年版)、工事数量表、文部科学省土木工事施工管理要領(令和3年版)及び工事写真撮影要領に基づき工事を施工する。</p> <p>2. 特記仕様書の適用方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 印を付した事項は、○印を付した事項のみ適用する。 2) 表中の数字、文字又は記号を記入する事項は、記入してある事項のみ適用する。 3) _____ で抹消した欄・章及び項目の当該特記事項は、すべて適用しない。 4) 左欄の()内の数字は文部科学省土木工事標準仕様書の当該番号を示す。 5) 特記された材料、製造所、製品名・施工業者等の取扱い、特記されたもの又は同等以上のものとする。ただし、同等以上のものを使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。 <p>3. 「低入札価格調査対象工事に係る特別重点調査の試行について」に基づく特別重点調査を受けた者の契約後の取扱いについて</p> <p>(1) 施工体制台帳の提出及びその内容のヒアリング 「低入札価格調査対象工事に係る特別重点調査の試行について」(平成21年3月31日大臣官房文教施設企画部長通知)に基づく特別重点調査を受けた者と契約した場合においては、施工体制台帳の提出に際して、その内容のヒアリングを発注者から求められたときは、受注者の支店長又は営業所長等は応じなければならない。</p> <p>(2) 施工計画書の内容のヒアリング 「低入札価格調査対象工事に係る特別重点調査の試行について」(平成21年3月31日大臣官房文教施設企画部長通知)に基づく特別重点調査を受けた者と契約した場合においては、仕様書に基づく施工計画の提出に際して、その内容のヒアリングを発注者から求められたときは、受注者の支店長又は営業所長等は応じなければならない。</p> <p>なお、受注者が(1)及び(2)に違反して、ヒアリングに応じなかった場合には「建設工事の請負契約に係る指名停止等の措置要領」別表第一第3号に該当することがある。</p>

1章 一般共通事項

(1.1.6) 設計図書の取扱い	下記の図書を提出すること												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>種類</th> <th>図面の大きさ</th> <th>組</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1) ○ 発注図面</td> <td>仮製本(A2判)</td> <td>A1判</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>2) ○ //</td> <td>縮小図仮製本(A4判)</td> <td>A3判</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	区分	種類	図面の大きさ	組	1) ○ 発注図面	仮製本(A2判)	A1判	1	2) ○ //	縮小図仮製本(A4判)	A3判	4
区分	種類	図面の大きさ	組										
1) ○ 発注図面	仮製本(A2判)	A1判	1										
2) ○ //	縮小図仮製本(A4判)	A3判	4										

(1.2.1) 実施工程表	概成工期 令和4年8月24日(水曜日)
---------------	---------------------

(1.3.3) 電気保安技術者	この工事現場に下記いずれかの資格を有する電気保安技術者を選任する。																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目名</th> <th>電気保安技術者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 第3種電気主任技術者以上の資格を有する者</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>2 1級電気工事施工管理技士の資格を有する者</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>3 第1種電気工事士の資格を有する者</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>4 高等学校又はこれらと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格に関する省令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>5 旧電気工事技術者検定規定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>6 公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>7 2級電気工事施工管理技士の資格を有する者</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>8 第2種電気工事士(旧電気工事士)以上の資格を有する者</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>9 短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学(実験を含む)に関する科目を修めて卒業した者</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	項目名	電気保安技術者	1 第3種電気主任技術者以上の資格を有する者	・	2 1級電気工事施工管理技士の資格を有する者	・	3 第1種電気工事士の資格を有する者	・	4 高等学校又はこれらと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格に関する省令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者	・	5 旧電気工事技術者検定規定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者	・	6 公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者	・	7 2級電気工事施工管理技士の資格を有する者	・	8 第2種電気工事士(旧電気工事士)以上の資格を有する者	・	9 短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学(実験を含む)に関する科目を修めて卒業した者	・
項目名	電気保安技術者																				
1 第3種電気主任技術者以上の資格を有する者	・																				
2 1級電気工事施工管理技士の資格を有する者	・																				
3 第1種電気工事士の資格を有する者	・																				
4 高等学校又はこれらと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格に関する省令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者	・																				
5 旧電気工事技術者検定規定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者	・																				
6 公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者	・																				
7 2級電気工事施工管理技士の資格を有する者	・																				
8 第2種電気工事士(旧電気工事士)以上の資格を有する者	・																				
9 短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学(実験を含む)に関する科目を修めて卒業した者	・																				

(1.3.4) 工事用電力設備の保安責任者	この工事現場には、下記の資格を有する工事用電力設備の保安責任者を選任する。 工事用電力を構外から引込む場合は、法令に基づく有資格者を定め監督職員に報告すること。
-----------------------	---

(1.3.5) 施工の条件	<p>この工事現場では、次の施工条件による。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 車両規制を伴う作業は、道路占用の許可を得た上で占用帯を明示し、誘導員を配置して、歩行者、自転車、車両の出入口・通路を確保して安全を確保すること。 2) 構内は、安全に通行等できるよう対策を施し、動線を確保すること。 3) 工事中もトラック内側は授業で使用するため、監督職員及び施設管理者と協議を行い、仮設計画書を作成し、承諾を得た上で施工すること。 4) 大学行事等による工事休止及び騒音・振動等の発生に対する制限については、大学の指示によるものとする。 <p>5) 本キャンパス内及びキャンパス周辺は、全面禁煙である。</p>
---------------	---

(1.3.10) 施工中の環境保全等	引渡しを要するもの
--------------------	-----------

(1.3.11) 発生材の処理等	4) 本キャンパス内及びキャンパス周辺は、全面禁煙である。
------------------	-------------------------------

特別管理産業廃棄物	現場において再利用を図るもの
	○ 発生土
再資源化を図るもの	○ アスファルト、コンクリート及び鋼材
関係法令に従い適切に処分するもの	

低騒音型・低振動型建設機械	<p>本工事においては「低振動型・低振動型建設機械の指定に関する規定」(平成9年7月31日建設省告示第1536号)に基づき国土交通大臣が型式指定を行った低騒音型・低振動型建設機械を使用するものとする。ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議の上、必要書類を提出するものとする。</p> <p>低騒音型建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い監督職員に提出するものとする。</p>
---------------	--

排出ガス対策型建設機械	<p>本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律」(平成17年法律第51号)に基づく技術基準に適合する機械、または、「排出ガス対策型建設機械指定要領(平成3年10月8日付け建設省経機発第249号)」、「排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規程」(平成18年3月17日付け国土交通省告示第348号)若しくは「第3次排出ガス対策型建設機械指定要領」(平成18年3月17日付け国総施第215号)に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。排ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」又はこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業若しくは建設技術審査照明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着することで、排出ガス対策型機械と同等と見なす。ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。</p> <p>排出ガス対策型建設機械、又は排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は、施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督職員に提出するものとする。</p>
-------------	--

機種	適用
ブルドーザ	ディーゼルエンジン(エンジン出力8kw以上、560kw以下)を搭載したものに限る。
バックホウ	
ホイールローダ	
ホイールクレーン(ラフテレーンクレーン)	
ローラー類(ロードローラー、タイヤローラー、振動ローラー)	ディーゼルエンジン(エンジン出力7.5kw以上、260kw以下)を搭載したもの。
油圧ユニット(基礎工事用機械で独立したもの)	
空気圧縮機(可搬式)	
発動電動機(可搬式、溶接兼用機を含む)	

ディーゼル車排出ガス規制に適合した車両	①受注者は本工事現場で使用し、又は使用される関係車両(以下本工事関係車両という)が、当該工事場所のディーゼル車排出ガス規制条例(以下「排出ガス規制条例」という。)の適用を受ける場合は、これに適合した車両を使用しなければならない。
---------------------	--

(1.4.1) 環境への配慮	<p>②受注者は、本工事の施工に先立ち、本工事関係車両の「ディーゼル車排出ガス規制に適合する車両の使用」について、排出ガス規制条例の遵守を施工計画書に記載しなければならない。</p> <p>③受注者は、本工事関係車両にディーゼル車を使用する場合には、車検証のコピーを保管し、本工事関係車両を把握しなければならない。</p> <p>④受注者は、取締りにより本工事関係車両に違法行為等があった場合には、直ちに監督職員に報告しなければならない。</p> <p>⑤受注者は、資機材の搬出入等において、資材納入業者に排出ガス規制条例を遵守させるものとする。</p> <p>・計画的、効率的な施工管理により工事車両のピークの抑制、分散化を図り通行ルートにも配慮する。 ・吹流しの設置により、風量・風向を監視し粉じんの飛散防止に努めること。 ・濁水発生防止に努めること。 ・工事関係者の自然環境保全の意識向上のために、教育を実施すること。</p>
(1.4.4) 材料の検査等	

材料名	備考
(1.5.2) 技能士	下記の工種を施工する場合には、次の資格を有する技能士を選任する。
工種	技能検定の職種

(1.5.4) 一工程の施工の確認及び報告	標準仕様書に定めがあるもの以外で、次に示す工事段階及び事項については、監督職員に施工の確認及び報告をする。										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工の確認及び報告を行う工程</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3章 仮設工</td> <td>仮設設置の完了</td> </tr> <tr> <td>7章 舗装工</td> <td>舗装面不陸整正の完了</td> </tr> <tr> <td>11章 運動場</td> <td>人工芝舗装の完了</td> </tr> <tr> <td>13章 取りこわし及び舗装補修工</td> <td>仮設撤去の完了</td> </tr> </tbody> </table>	施工の確認及び報告を行う工程	備考	3章 仮設工	仮設設置の完了	7章 舗装工	舗装面不陸整正の完了	11章 運動場	人工芝舗装の完了	13章 取りこわし及び舗装補修工	仮設撤去の完了
施工の確認及び報告を行う工程	備考										
3章 仮設工	仮設設置の完了										
7章 舗装工	舗装面不陸整正の完了										
11章 運動場	人工芝舗装の完了										
13章 取りこわし及び舗装補修工	仮設撤去の完了										

(1.5.5) 施工の検査等	標準仕様書に定めがあるもの以外で、次については、監督職員の検査を受ける。
----------------	--------------------------------------

(1.5.7) 施工の立会い等	標準仕様書に定めがあるもの以外で、次に示す工事段階及び事項については、監督職員の立会いを受ける。
-----------------	--

(1.7.1) 完成時の提出書類	<p>完成図の種類及び記入内容は次による。</p> <p>○ 完成図 ○ 保安に関する資料</p>
------------------	---

(1.7.2) 完成図	完成図の種類等は次による。																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>種類</th> <th>図面の大きさ</th> <th>組</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1) ○ 完成図面</td> <td>黒表紙製本(A4判) 工事名称等は金文字入り</td> <td>A3判</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>2) ○ 施工図面</td> <td>隔面製本(A4判)</td> <td>A3判</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>3) ○ 各種試験検査成績書</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>4) ○ 取扱説明書 保安に関する資料等</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	区分	種類	図面の大きさ	組	1) ○ 完成図面	黒表紙製本(A4判) 工事名称等は金文字入り	A3判	2	2) ○ 施工図面	隔面製本(A4判)	A3判	1	3) ○ 各種試験検査成績書			1	4) ○ 取扱説明書 保安に関する資料等			1
区分	種類	図面の大きさ	組																		
1) ○ 完成図面	黒表紙製本(A4判) 工事名称等は金文字入り	A3判	2																		
2) ○ 施工図面	隔面製本(A4判)	A3判	1																		
3) ○ 各種試験検査成績書			1																		
4) ○ 取扱説明書 保安に関する資料等			1																		

完成図の様式等は次による。	
作成方法	CAD
原図サイズ	A1
工事写真帳は()で、1部提出する。	紙媒体、電子媒体

(1.7.3) 保安に関する資料	<p>完成写真はキャビネ版とし黒表紙とし、工事名称等は金文字入りとする。なお、完成写真には撮影方向等を明示した配置図、平面図を添付する。</p> <p>本工事は、次の書類について電子納品の対象とする。</p> <p>全ての図書</p> <p>貸与する設計図のCADデータ著作権者:宮城教育大学 ファイル形式:DWG又はDXF</p> <p>貸与条件:貸与するCADデータを本工事における施工図又は完成図の作成のため以外に使用しないこと。</p> <p>提出方法:全ての図書について、元データとP.D.F.データとし、CADデータについては、JWW、DXFデータも入れること。</p> <p>保安に関する資料 提出部数 ○ 1部</p> <p>監督職員事務所 監督職員事務所の設置 ・有り()m2 ○ 無し</p>
------------------	---

2章 材料			
(2.1.4.7) 全天候系舗装の表層材	本工事に使用する全天候系舗装の表層材は、次による。		
材料名	規格・寸法等	使用工種	備考
砂入り人工芝	※	テニスコート舗装工	オムニコートXPH同等品以上
	※ 人工芝材質: 耐候性ポリエチレン 形状: スプリットヤーン 長さ: 19mm ±1.0mm 織度: 11,100dtex ±10% 基布材質: ポリプロピレン バックング: SBRラテックス		日本テニス協会推薦及び国内生産品とする。
(2.1.4.8) 附属品及び附帯設備	本工事に使用する附属品及び附帯設備は、次による。		
材料名	規格・寸法等	使用工種	備考
ネットポスト		テニスコート舗装工	既存再利用
センターガイド		テニスコート舗装工	既存再利用

3章 仮設工

(3.1.2) 施工一般	<p>【指定仮設とする場合】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) _____工の施工に伴う仮設は、_____構造図に基づき施工するものとするが、受注者は施工に先立ち、現地の状況を十分に把握し安全性、社会性、経済性等について十分な検討を行う。 2) _____工の施工に伴う仮設の技術的検討結果は、その内容を施工計画書に記載し提出する。 3) 工事の施工は、受注者の責任において行う。 4) 設計条件等は、以下のとおりとする。 ①地形・地質は設計図に示すとおり。 ②設計計算に用いる地盤物性値、積載荷重、安全率等の設計条件は以下のとおり。
--------------	--

	<p>【任意仮設とする場合】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) _____工の施工に伴う仮設は、受注者が施工に先立ち現地の状況を十分に把握し、安全性、社会性、経済性等について十分な検討を行い、受注者の責任において決定し施工する。 2) 仮設工法の設計にあつては、以下の事項に留意する。 ①地盤面下 _____mの位置に直径 _____mの _____が埋設されている。 ②現場が _____に接しており、騒音・振動の少ない工法を選定する。
--	--

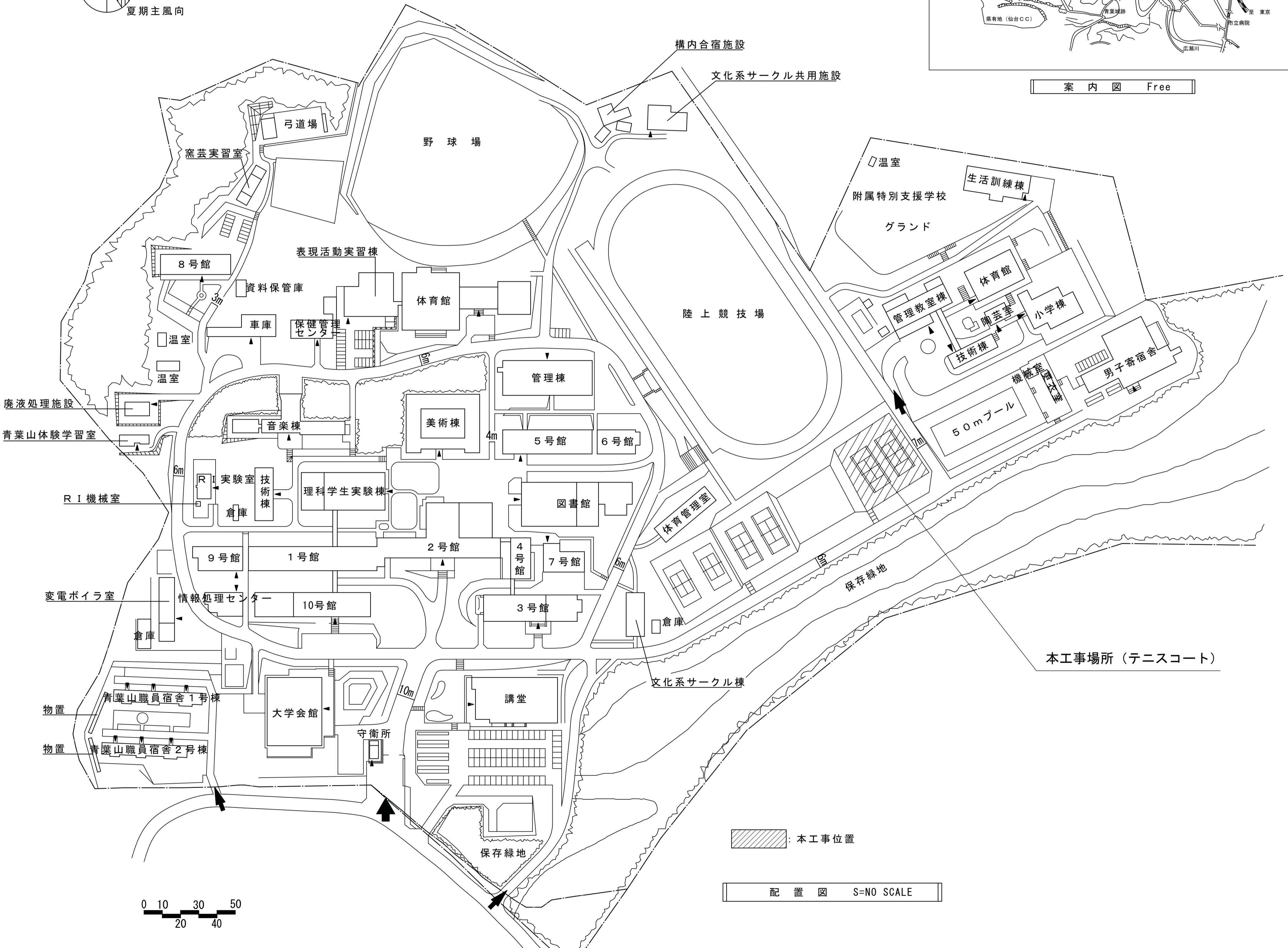
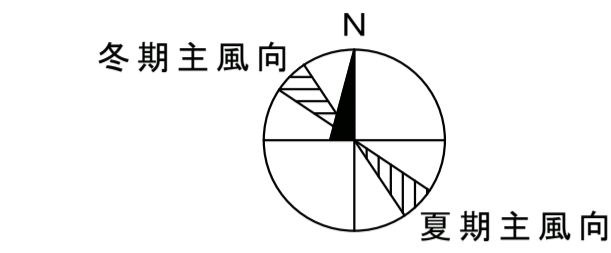
	<p>【仮設物を存置する場合】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 工事に使用する _____は、継続する工事に兼用するため工事完成後もそのまま存置する。なお、存置する範囲は、監督職員の指示による。 2) 工事完了引渡し後の仮設物の損料、撤去費等については、本工事には含まない。
--	---

	<p>【足場を設ける場合】</p> <p>足場を設ける場合は、手すり据置き方式又は手すり先行専用足場方式とする。また、併せて、足場の外側及び内側(躯体側)の両方に手すり、中さん及び幅木の機能を有するものを設置することとし、幅木はメッシュシート、防音シート及び防網等の有無に関わらず設置すること。</p>
--	---

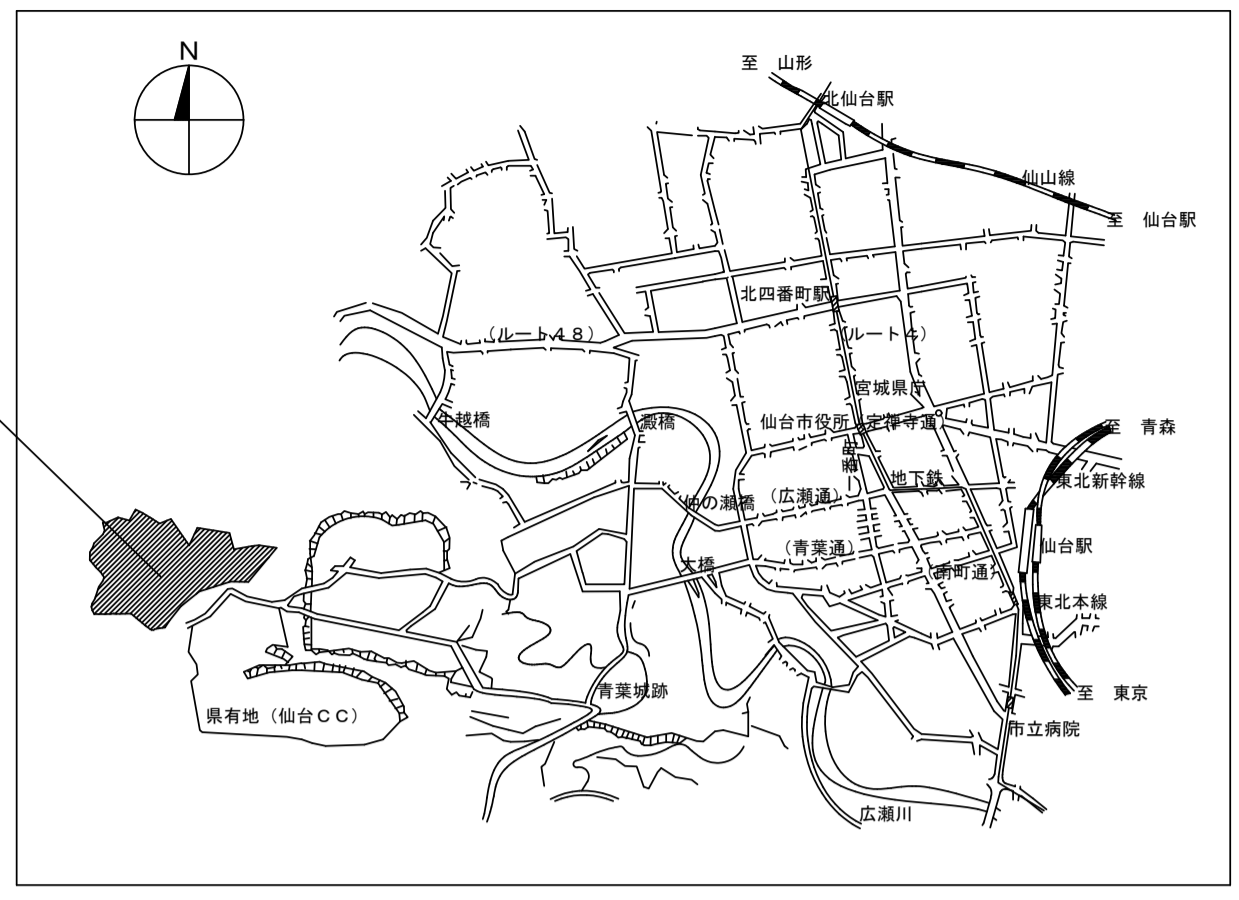
備考	工事名称 宮城教育大学(青葉山)災害復旧(テニスコート)工事	図面番号 特C-01
	図面名称 特記仕様書(1)	
	令和4年度 国立大学法人宮城教育大学施設課	縮尺 A1:N.S A3:N.S
		通し番号 02/04

7章 舗装工	
(7.2.1) 路床の整備 ≪(7.7.4)コンクリート舗装の表面仕上げ≫	舗設コンクリートの表面仕上げは、.....とする。
11章 運動場	
≪(11.2.4)天然芝舗装(11.3.1)施工一般≫	表層工(芝仕上げ)は、.....とする。 全天候系舗装の工法は、.....人工芝舗装工法.....とする。
12章 環境緑化	
≪(12.3.3)地被類補栽工≫	平面芝張工は、.....ベタ.....張りとする。の植付け株数は、.....とする。
13章 取りこわし及び舗装補修	
(13.3.1) 路面切削工	路面切削工の縦横断測量間隔は、.....mとする。 なお、平均切削深さは、.....mmとする。
≪(13.3.2)舗装打換え工≫	舗装打換え工の補充材料は、.....とし、補充量は、.....m ³ /m ² とする。
≪(13.3.3)オーバーレイ工≫	オーバーレイ工の縦横断測量間隔は、.....mとする。
≪(13.3.4)路土路盤再生工≫	添加材：..... 使用量：.....m ³ /m ² 補足材：..... 使用量：.....m ³ /m ²

工事数量表				
名称	摘要	数量	単位	備考
1. 運動場舗装				
(1) 仮設工				
工事用通路	搬出入用仮設スロープ (RC-40) 敷均し撤去・整地共	1	式	
ネットフェンス一時撤去・再取付	H=3.0m、L=4.0m	1	式	
(2) 下地補修工				
舗装版排水工	舗装穴開けΦ20 縦横0.1m 珪砂充填	1,349	m ²	
クラック処理	常温補修材 (W=5~30mm、t=50)	228	m	
不陸整正	既存路面研磨共	1,349	m ²	
(3) 舗装工				
表層工 (砂入り人工芝)	オムニコートXPH t=19 同等品以上	1,349	m ²	
ラインコート工	オムニコートXPH t=19 (白) 同等品以上	2	面	
ネットポスト工	既存ポスト再利用 (Φ76)、高さ調整リング新設 (ステンレス製、h=20)	4	箇所	
センターガイド工	既存金具再利用、延長リング新設 (ステンレス製)	2	箇所	



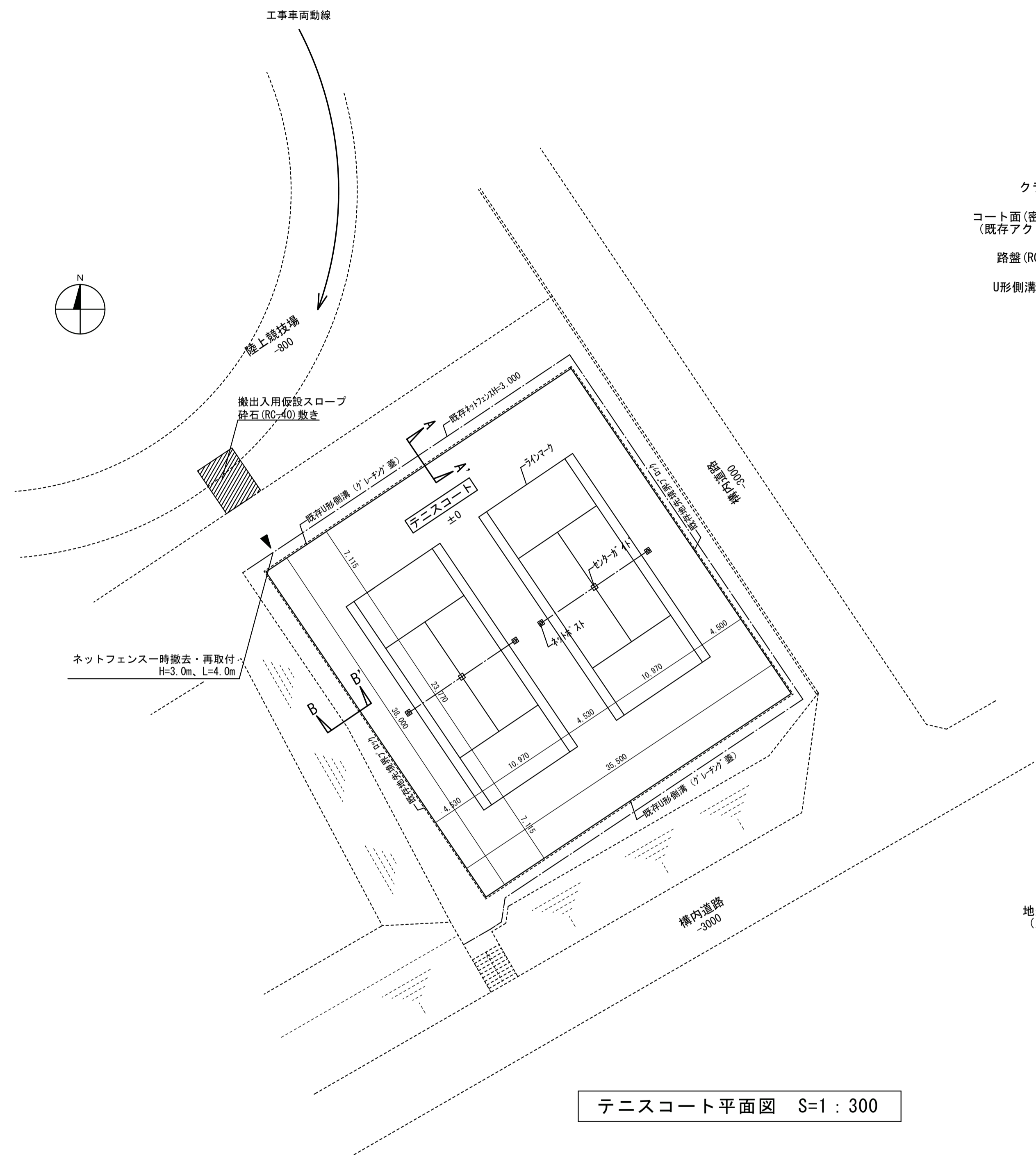
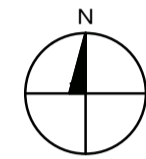
本工事位置：宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉149
(宮城教育大学 青葉山団地内)



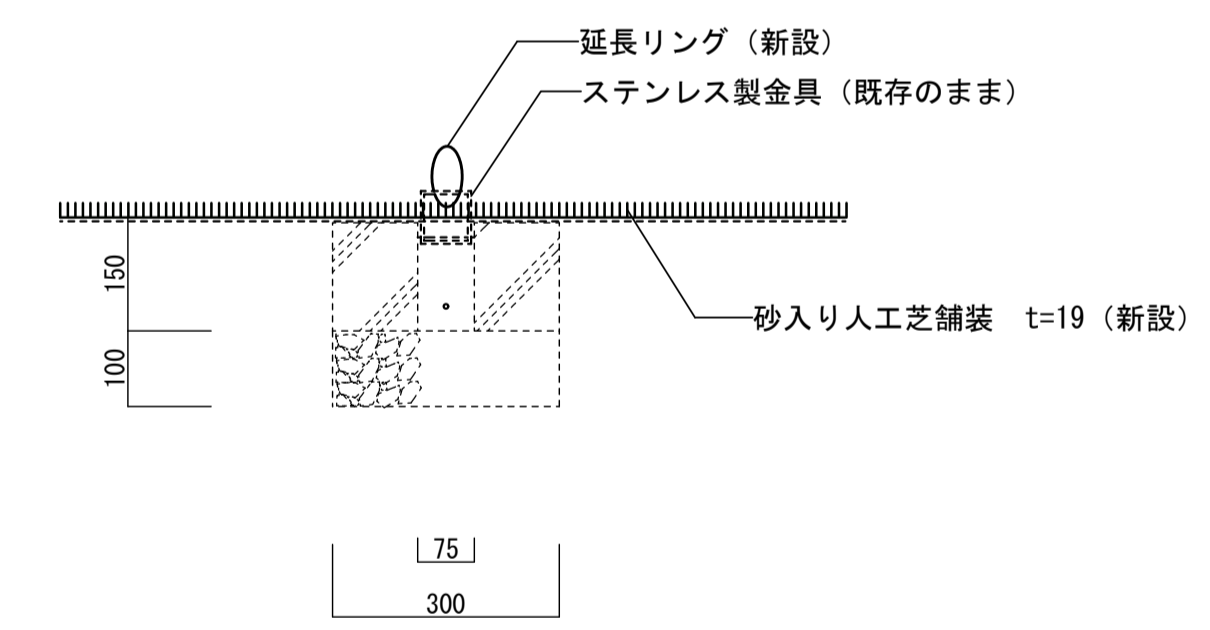
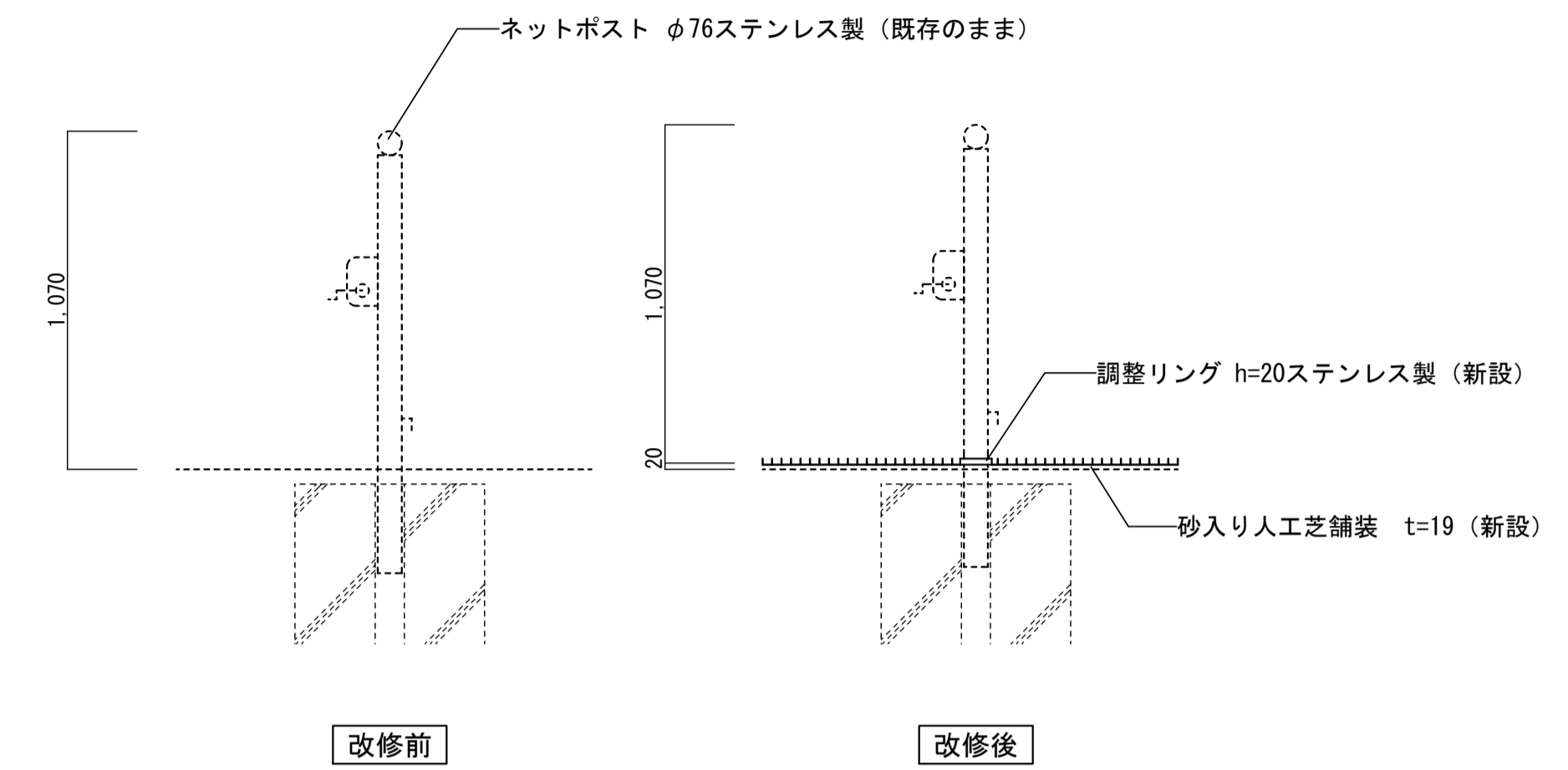
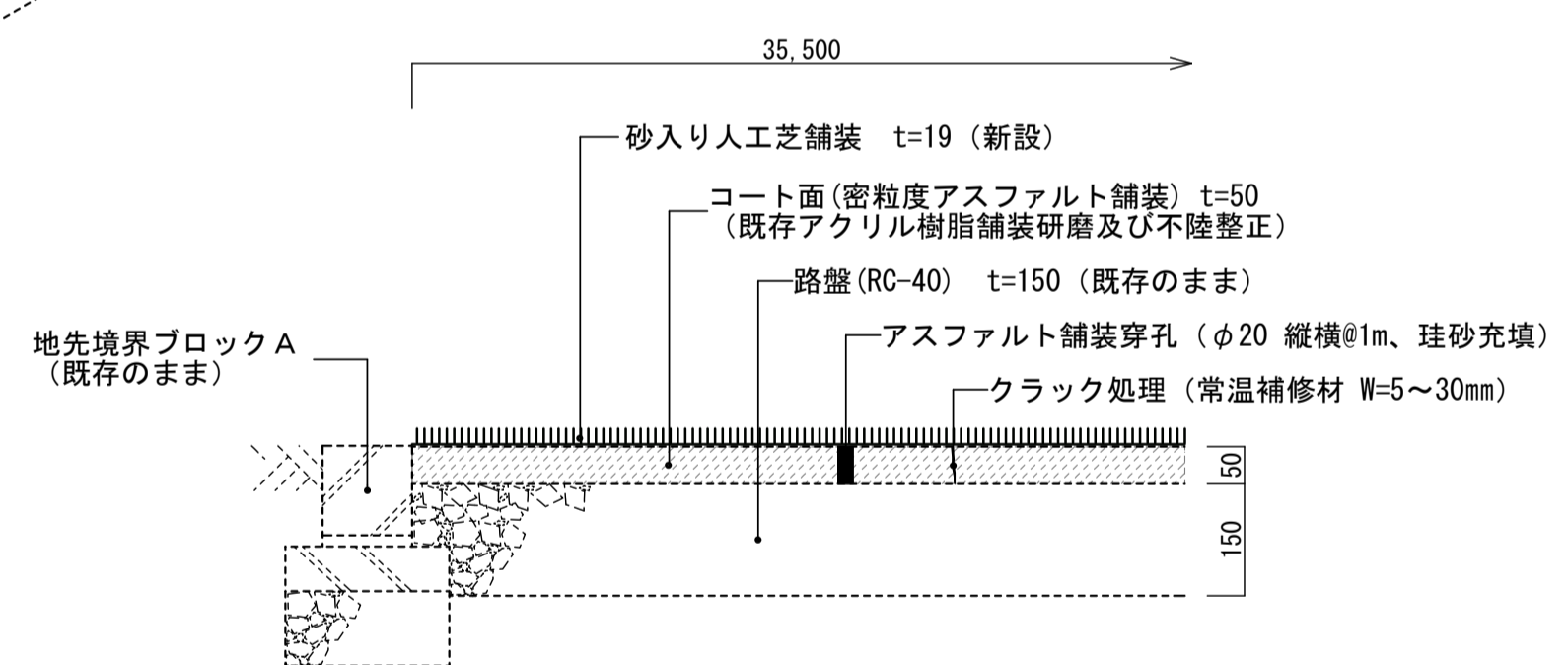
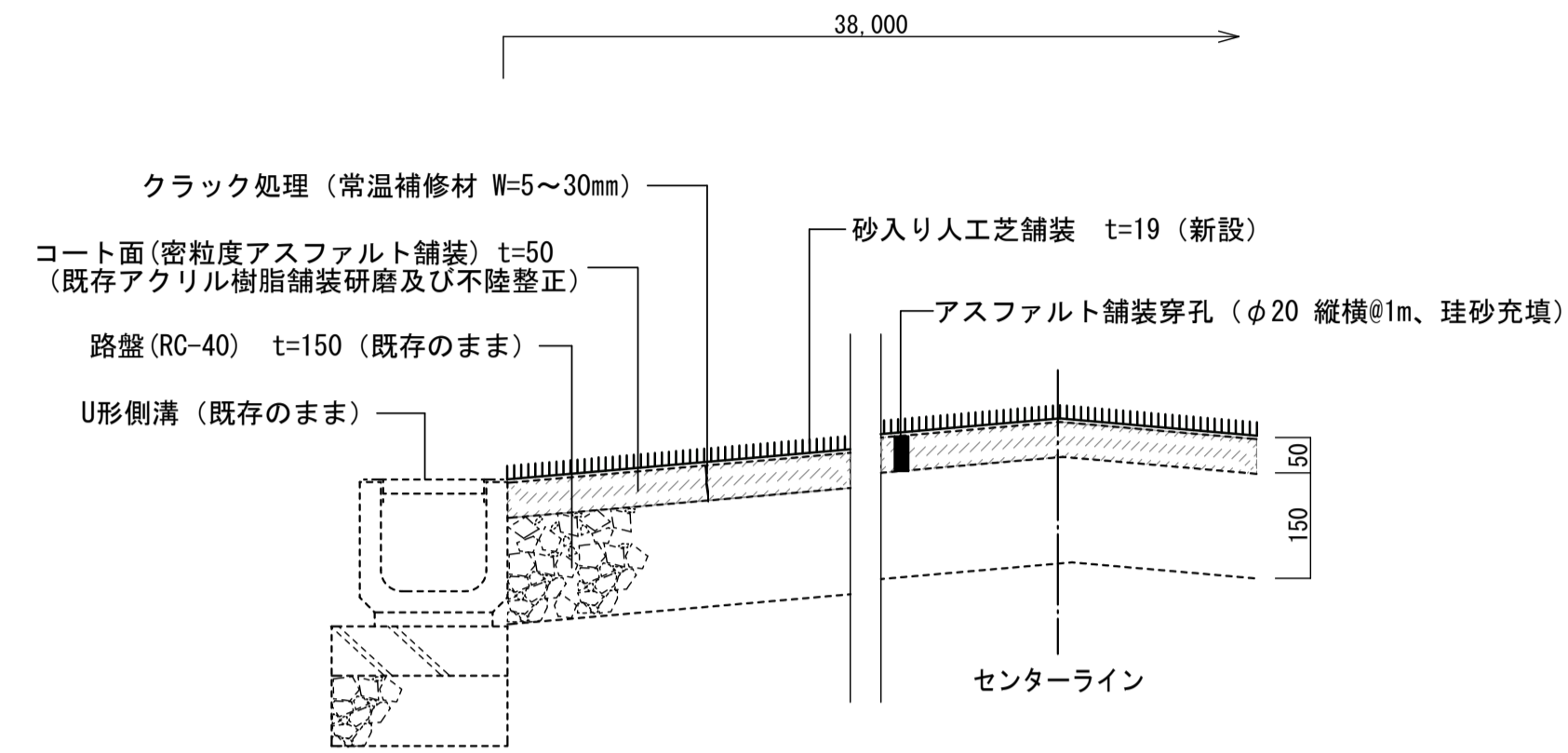
■ 本工事位置

配置図 S=N0 SCALE

備考	工事名称 宮城教育大学 (青葉山) 災害復旧 (テニスコート) 工事	図面番号 特C-02
	図面名称 特記仕様書 (2)、案内図・配置図	
	令和4年度 国立大学法人宮城教育大学施設課	縮尺 A1:N.S A3:N.S
		通し番号 03 / 04



2面求積 $S = 35.500 \times 38.000 = 1349.00 \text{ m}^2$



備考	工事名称	宮城教育大学 (青葉山) 災害復旧 (テニスコート) 工事	図面番号	C-01
	図面名称	テニスコート平面図・詳細図	縮尺	A1: 図示 A3: 図示
	令和4年度 国立大学法人宮城教育大学施設課	通し番号	04 / 04	